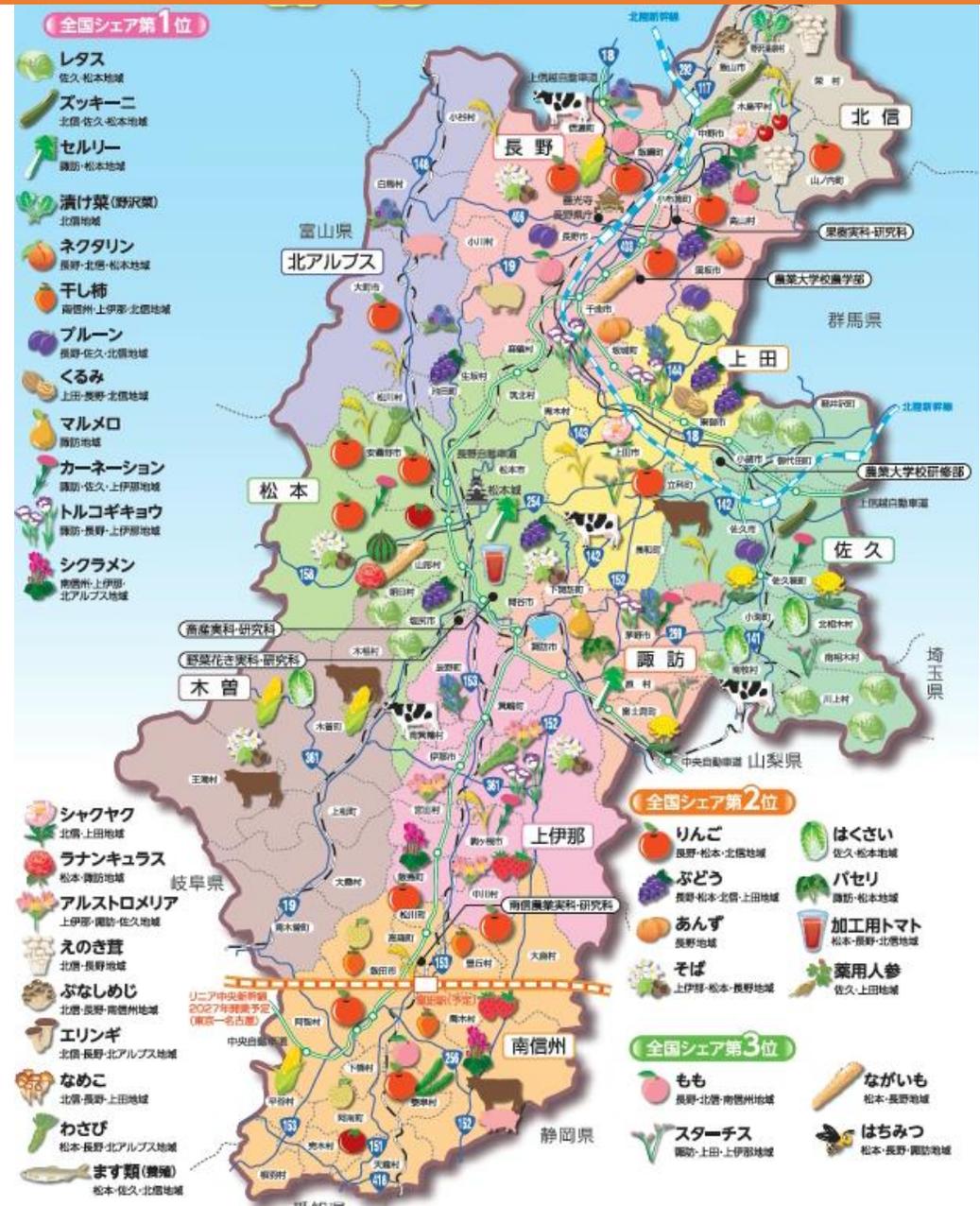


長野県の果樹生産振興について

長野県農政部
令和6年11月22日（金）

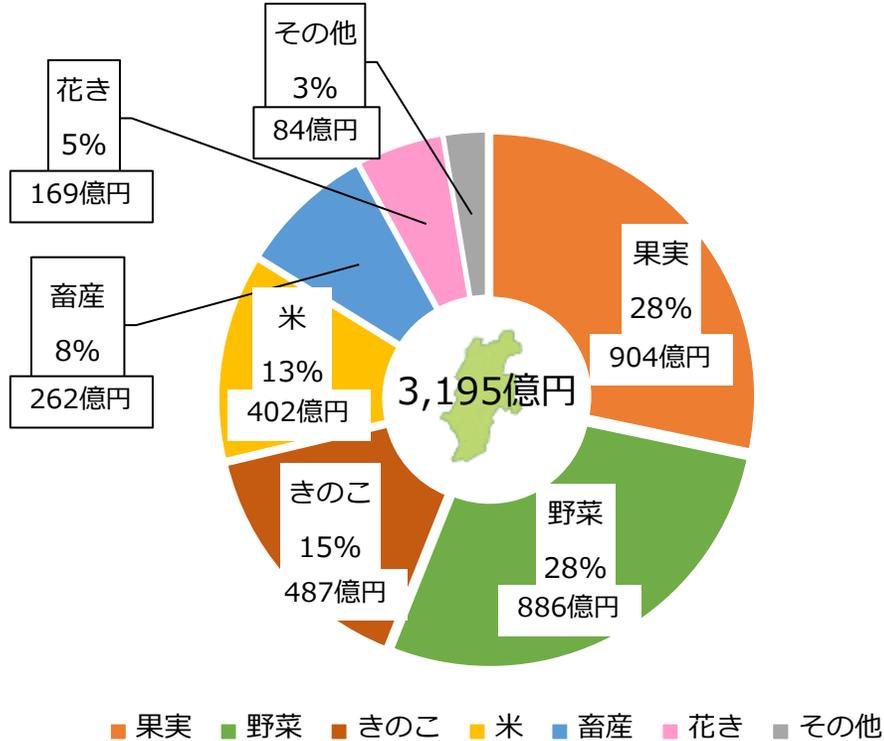
長野県の農業について

- 長野県は、南北約180km、東西約120km、全国4番目の広大な県土を有する。また、標高260~1490mと幅広い標高帯で果樹、野菜を中心に水稻、花き、畜産、菌茸など、それぞれの地域の気候・土質の特徴を生かした農業生産が行われている。
- 果樹栽培については、りんご、ぶどう、もも、なしの4品目を中心に、干し柿やプルーン、くるみなど地域の特産となる品目の栽培も行われている。



長野県農業における果樹の位置づけ

長野県の農業産出額に占める果樹の割合



出典：農林水産省「令和4年産 果樹生産出荷統計」

- 果実の産出額：904億円（全国2位）
- 産出額に占める割合：28%

主要な果樹の結果樹面積と収穫量

- 🍏 りんご 結果樹面積：6,870 ha（全国第2位）
収穫量：132,600 t（全国第2位）
- 🍇 ぶどう 結果樹面積：2,450 ha（全国第2位）
収穫量：28,900 t（全国第2位）
- 🍑 もも 結果樹面積：939 ha（全国第3位）
収穫量：12,000 t（全国第3位）
- 🍌 なし 結果樹面積：614 ha（全国第5位）
収穫量：13,000 t（全国第5位）

出典：農林水産省「令和4年産 果樹生産出荷統計」

その他全国有数の生産量を誇る果樹

- 【全国1位】
 - ネクタリン
 - プルーン
 - くるみ
- 【全国2位】
 - あんず
 - ブルーベリー

出典：農林水産省「令和3年産 特産果樹生産動態等調査」

長野県は、豊かな自然環境を生かして、品質の高い多様な果樹が栽培されており、全国の果樹生産においても屈指の地位を誇る県内農業の基幹部門となっている。

長野県の果樹生産における課題

【放任・荒廃農地の増加】

農地の集約、集積率

全体（43.2%）、果樹地帯（24.2%）

果樹地帯では集積が進まない

→ 樹園地継承の推進や中間管理機構の有効活用が必要

【気候変動・異常気象】

R3・R5凍霜害、

猛暑日17日・熱帯夜11日（2023.8月）

→ 戦略品種の選定、安定生産・品質向上対策の開発・普及、防霜ファン、多目的ネット等の設置支援が必要

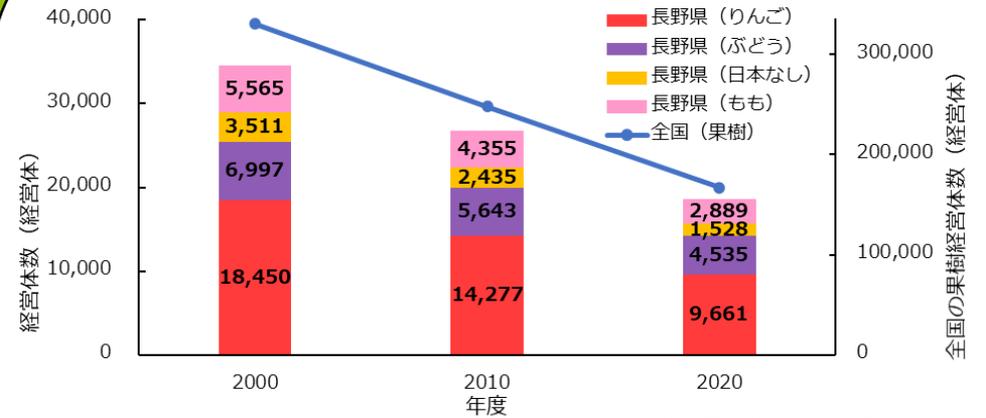
【生産コストの上昇】

農業機械や棚やトレリスなど資材が高騰し、経営を圧迫

農業生産資材 121.2%（R2対比）

建築資材 137.1%（R2対比）

【担い手の減少・確保】



→ 新規就農者の確保、経営規模の大規模化、樹園地継承の円滑化が急務

【労働力不足】

1 経営体の経営面積は1.5倍

（例：りんご 約50a⇒約75a）

→ 省力技術、スマート技術の開発・導入促進が必要

長野県の果樹の特徴と振興計画

長野県果樹農業振興計画における生産振興方針（令和2年度策定、目標年度令和12年）

1. 県オリジナル品種等を活用した果樹生産基盤の強化

標高や出荷時期を踏まえた県オリジナル品種等優良品種を戦略的に導入



【シナノリップ】



【クインルージュ®】

3. 「うまいくだもの」を安定生産できる産地づくり

補助事業等を有効活用した栽培環境や樹園地の整備

高品質・高単収生産に向けた技術支援、長期出荷に向けた施設整備



【ぶどう長期貯蔵用冷蔵庫】

2. 多様な技術を活用した収益性が高い果樹栽培の推進

省力化と生産性の向上が同時に実現できるりんご高密度植・新わい化栽培、ぶどう平行整枝短梢せん定栽培、なしの樹体ジョイント栽培を積極的に導入

スマート農業技術、気象災害に強い技術の導入推進



【りんご高密度植栽培】



【なしV字ジョイント仕立て栽培】

4. 担い手の確保と経営力の強化

樹園地継承・集積、農業保険加入促進

夏りんご「シナノリップ」やりんご三兄弟®の導入による長期出荷の実現

果樹の振興方針（りんご）

高密植栽培の導入推進による単収UP！

	現状(令和元年度)			目標(令和12年度)					
	栽培面積	生産量	単収	栽培面積	生産量	単収	令和元年対比		
							栽培面積	生産量	単収
	ha	t	kg/10a	ha	t	kg/10a	%	%	%
りんご	7,539	124,481	1,651	7,310	151,040	2,066	97%	122%	125%
シナノリップ	89	114	128	300	5,400	1,800	337%	4737%	1406%
つがる	1,261	20,921	1,659	800	14,400	1,800	63%	69%	108%
シナノドルチェ	59	948	1,607	80	1,440	1,800	136%	152%	112%
秋映	450	6,600	1,467	530	10,600	2,000	118%	161%	136%
シナノスイート	769	10,844	1,410	1,000	20,000	2,000	130%	184%	142%
シナノゴールド	303	3,382	1,116	400	7,200	1,800	132%	213%	161%
ふじ	4,200	76,337	1,818	4,000	88,000	2,200	95%	115%	121%
その他	408	5,335	1,308	200	4,000	2,000	49%	75%	152%

りんご三兄弟®：「秋映」、「シナノスイート」、「シナノゴールド」の3品種の総称で、全国農業協同組合連合会の登録商標

果樹の振興方針（ぶどう）

皮ごと種無しで食べられる「ぶどう三姉妹®」の生産拡大

		現状（令和元年度）		目標（令和12年度）			
		栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	令和元年対比	
						栽培面積	生産量
		h a	t	h a	t	%	%
ぶどう		2,522	29,010	2,930	36,280	116%	125%
	巨峰	1,009	11,817	800	9,600	79%	81%
	うち有核巨峰	277	3,237	150	1,800	54%	56%
	無核巨峰	732	8,580	650	7,800	89%	91%
	ナガノパープル	168	2,032	280	3,080	167%	152%
	シャインマスカット	448	4,388	800	11,200	179%	255%
	クイーンルージュ®	76	0	250	3,000	329%	
	その他生食用ぶどう	477	7,407	350	4,900	73%	66%
	醸造用ぶどう	344	3,366	450	4,500	131%	134%

ぶどう三姉妹®：「ナガノパープル」、「シャインマスカット」、「クイーンルージュ®」の総称で、全国農業協同組合連合会の登録商標

長野県の取組と実績

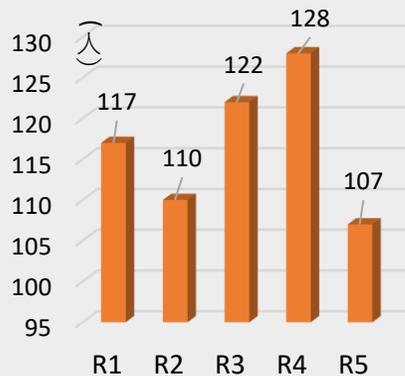
担い手の育成

- 地域農業の将来像の明確化
- ニーズに応じたきめ細かな就農を支援
- 果樹トッパーランナーの育成
- 樹園地継承組織の育成定着



【実績】

・ 新規就農者数（果樹）



果樹産地づくり

- 果樹戦略品種の安定生産と品質向上
- フェザー苗木の安定供給体制構築
- 果樹棚等の設備導入への支援
- 災害や盗難から守る産地づくりの支援



【実績】

- ・ 県オリジナル品種等の生産面積 3,017ha (R5)
- ・ りんご新わい化・高密植栽培改植面積 94ha (R2~R5)
- ・ ぶどう棚の設置面積 104ha (R1~R5)
- ・ ぶどう冷蔵庫の導入台数 105台 (R1~R5)
- ・ 防霜ファン導入面積 65ha (H22~R5)



基盤整備の推進

- スマート農業技術の導入や農地の集積・集約化を可能にする、生産効率の高い農地の整備
- 産地が目指す高収益作物の導入を可能にする、収益性の高い農地の整備



【実績】

- ・ 長野市綿内東町地区の基盤整備



魅力発信と輸出拡大

- 県オリジナル品種など県産食材の魅力・価値の発信
- 稼ぐ力の強化につながる輸出の拡大



新技術の開発・普及

- 生産力を強化し収益性を高めるための品種・技術開発
- 大規模経営体・法人経営体に対応する経営改善支援



長野県の果樹の特徴と振興計画（第4期県食農計画）

日本一を目指す果樹(りんご、ぶどう、なし、もも)の産地力向上

果実産出額 R2⇒894億円 R5⇒900億円 R6⇒907億円 R7⇒917億円 R8⇒929億円 R9⇒945億円

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年度

令和9年度

果樹戦略品種の安定生産と品質向上

りんご



◎りんご高密度植栽培導入による生産力強化

「りんご高密度植栽培推進チーム」の設置、りんご高密度植栽培推進計画の実行

「シナノリップ」、「秋映」、「シナノスイート」、「シナノゴールド」等への改植の推進、フェザー苗木の安定供給等

ぶどう



◎種無し・皮ごとぶどう「ナガノパープル」、「シャインマスカット」、「クイーンルージュ®」の生産力強化

◎醸造用ぶどうの地域特性に合わせた振興

「クイーンルージュ®」プロジェクトチームの設置

「クイーンルージュ®」振興計画の実行

「クイーンルージュ®」の生產品質基準づくり

「クイーンルージュ®」地域別果皮色調査の実施

醸造用ぶどう生産者向け栽培技術講習会の実施

高品質な「クイーンルージュ®」の出荷

なし・もも



◎なし産地の生産力強化

新規就農者等向け「樹体ジョイント仕立て栽培」の導入を支援

◎もも産地の生産力強化

新規就農者等向け生産販売方法等をもとにした現地指導会の開催、「なつっこ」等の導入推進

果樹産地基盤の強化・生産力向上

■生産基盤の強化

ほ場整備による区画の拡大や平坦化



■樹園地継承の推進

樹園地継承優良事例の普及



■果樹スマート技術の導入促進

ICT、AI活用による、「農の匠」の技の継承

■脱炭素化等の推進

果樹せん定枝の炭素貯留に関する取組促進

県オリジナル品種等の魅力発信と輸出拡大

■生産者団体等と連携したトップセールスの実施



■マーケットニーズの高い、加工需要向け果実の生産拡大

■県果樹オリジナル品種等の輸出拡大

